

宅地建物取引主任者 合格体験記

苫小牧市 宮越 光子（苫小牧通学コース受講・平成17年合格）

この度は色々とお世話になり本当にありがとうございました。私の拙い経験がお役に立つかどうか分かりませんが感謝の気持ちを込めて書かせていただきました。ちなみに、現在は、宅建の学習経験を生かして、スコーレの社会保険労務士講習に通学しております。

なぜ宅地建物取引主任者資格を目指したか。

一つには、50代半ばに差し掛かりボケ防止で何か始めたいと思ったこと事、また、日常の仕事の中で様々な書類や契約書などに接する為、会計や税務の知識だけでなく、民法等の理解が必要と感じることもあり、宅建の勉強が必ず何かの役に立つと思いました。

勉強スタイル

夜は疲れが残り以前のように長くはできなくなってきたので、できるときは朝早く起きてすっきりしたところでコツコツやりました。勉強すること自体苦しいことですが色々な行事に参加できなかつたり、また、自分の楽しみを犠牲にして我慢することなど、自制することが大変でした。反面少しずつ分かってくると苦しい中にも楽しみが加わってきたように思います。

わたしの弱点克服法

弱点の克服といっても特にこれといったものはなく、頭が凡庸なので繰り返しの連続でした。それでも思うようにはなりませんでした。

スコーレの講習は・・・

スコーレの講習は分かりやすく、講義は鋭いところと面白いところがあり、とても幅広い知識と経験を持っている先生方だなと感じられました。講義の中で直接試験には関係のないことなどもとても参考になりました。また、受験の心構えや勉強方法などについて話されたこともありましたが、一つ一つがとても心に残っております。

これから宅建資格を取ろうとする後輩へのアドバイス

月並みですが、毎日少しずつでも机に向かう良い習慣を身につけることが合格への早道だと思います。

最後に

1年目は自分なりの勉強で、受験しましたので、2度目の受験は不安の中で合格したいという気持ちを持ち続けて頑張ってきました。合格できたのスコーレの皆様方のお陰だと思っています。ありがとうございました。

スコーレ国家資格指導センター